

第8次県南東部保健医療圏地域保健医療計画
進捗状況

3 医療提供体制の構築

(1) 地域医療構想

項目	施策の方向	進捗状況
医療機関の役割分担と連携	○ 圏域内の医療機関相互の協議の場（県南東部地域医療構想調整会議）において、毎年度の病床機能報告等の情報を関係者で共有し、PDCAサイクルを効果的に機能させながら、医療機関の役割分担と連携を支援します。	○ 県南東部地域医療構想調整会議を設置し、毎年度の病床機能報告等の情報を関係者で共有するとともに、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定を進めました。 <調整会議の開催数> ・令和3年度 1回開催 ・令和4年度 2回開催 62 医療機関の対応方針について協議し、合意を得た。

(2) 5 疾病・5 事業及び在宅医療の医療連携体制

① がん

項目	施策の方向	進捗状況
がんの予防	○ あらゆる機会を通じてがんの予防に関する正しい知識の普及や、生活習慣とがんとの関連等について啓発を図り、がんの予防対策を推進します。また、健康づくりボランティア組織である愛育委員会・栄養改善協議会と協働で、生活習慣の改善を中心とした健康づくりを推進します。	○ 愛育委員会や栄養改善協議会と協働し、研修会の開催や声かけ訪問等による受診勧奨を通じて、がんの予防、早期発見普及啓発に努めています。特に、がん制圧月間には関係者が連携して普及啓発に取り組んでいます。
がんの早期発見	○ がんの早期発見・早期治療に結びつくよう、市町や関係団体とともに、普及啓発や研修会の場を設けます。また、総合検診方式の導入や、職域保健との連携等による受診率向上及び事後指導の充実に努めます。 ○ 特に、女性のがん検診受診率向上に愛育委員会と連携して取り組みます。	○ 休日・夜間検診、かかりつけ医での個別検診等、働く世代が受診しやすい環境づくりに取り組んでいます。 ○ 女性のがん検診では保育園幼稚園の保護者への啓発や愛育委員会と連携した託児の実施、乳がん出前講座など正しい知識の普及に取り組んでいます。

	○肝炎の医療連携を推進し、肝がんを早期発見できる体制の構築に努めます。	○精密検査受診率の向上等、市町への情報交換・研修の場を通じ精度管理に取り組んでいます。
がんの診断・治療に関する医療水準の向上	○「県がん診療連携拠点病院」を中心に当圏域の「がん診療連携拠点病院」「がん診療連携推進病院」が地域連携クリティカルパス※1の活用促進を図り、医療機関相互の連携体制づくりを推進します。 ○医師会等関係機関が相互に連携し、地域の特性に応じた在宅緩和ケア体制の整備について検討し、患者が在宅で療養できる環境を整備します	○「がん診療連携拠点病院」を中心に地域連携クリティカルパスの利用促進やがん治療の水準向上を目的に研修会が開催されています。 ○市町ごとの地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の取組の中で、在宅緩和ケアやACP※2などの普及啓発に取り組んでいます。
患者・家族への支援	○関係機関はがんに関する相談、支援を行うとともに、がん診療連携拠点病院に設置されている「がん相談支援センター」の活用や、「岡山がんサポート情報」により情報提供を行います。	○岡山県ホームページの「岡山県がん患者支援情報提供サイト」により、がん患者団体の紹介や団体の研修会などの情報提供に努めています。

※1 地域連携クリティカルパス：がん診療連携拠点病院と地域の医療機関が連携しながら作成する、がん患者に対する治療の全体像を体系化した「がん治療連携計画書」です。

※2 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）：人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み（人生会議）

【参考資料（厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」、令和4年度は市町集計速報値）】

ア がん検診受診率

①胃がん

(単位：%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	6.5	6.0	5.6	—
玉野市	7.0	6.4	5.3	5.4
瀬戸内市	6.7	5.2	4.3	4.9
吉備中央町	8.7	7.5	4.5	4.5
備前市	6.2	4.9	1.9	4.1
赤磐市	6.2	5.4	5.1	5.6
和気町	5.5	3.9	2.2	2.3
圏域	6.5	5.9	5.3	—
岡山県	6.8	6.4	5.6	—

②肺がん

(単位：%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	7.2	6.3	6.8	—
玉野市	8.7	4.9	6.1	6.1
瀬戸内市	7.6	7.8	6.0	5.7
吉備中央町	8.6	4.3	4.9	5.5
備前市	8.1	5.6	6.5	5.3
赤磐市	9.1	7.7	7.8	7.3
和気町	9.3	5.5	5.7	5.2
圏域	7.5	6.3	6.7	—
岡山県	7.4	6.0	6.4	—

③大腸がん

(単位：%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	6.0	5.5	5.7	—
玉野市	6.7	4.7	5.3	5.1
瀬戸内市	8.2	8.0	6.7	6.6
吉備中央町	7.7	3.8	3.9	5.2
備前市	7.6	5.1	4.2	5.2
赤磐市	7.7	6.8	7.1	6.9
和気町	7.1	5.4	5.6	5.5
圏域	6.3	5.6	5.7	—
岡山県	6.7	5.9	6.0	—

④乳がん

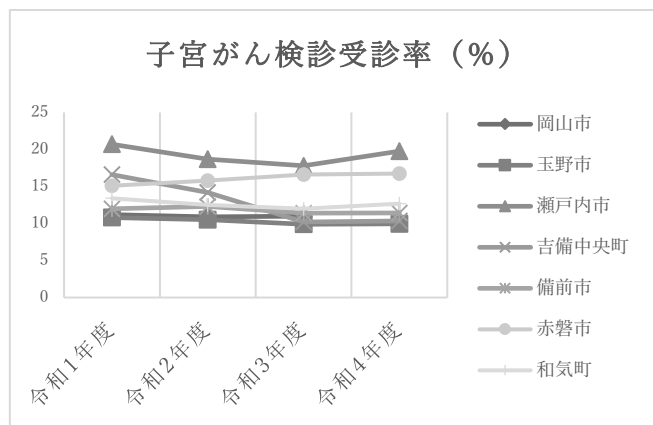
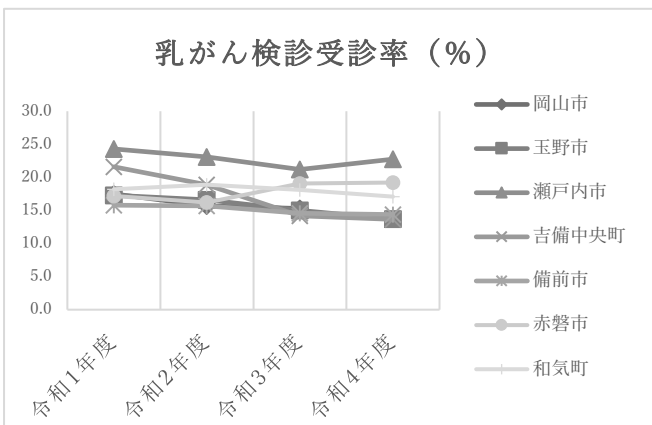
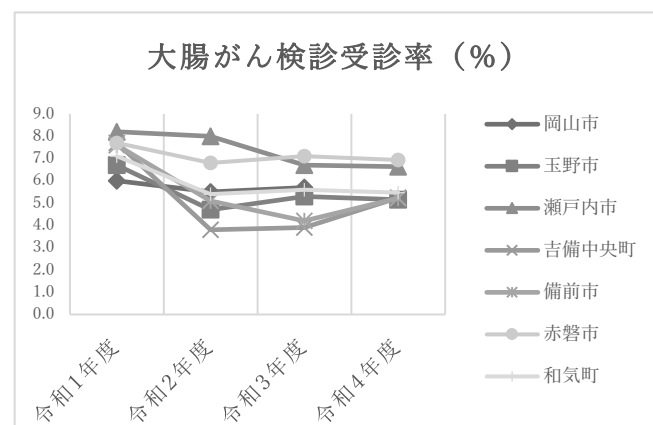
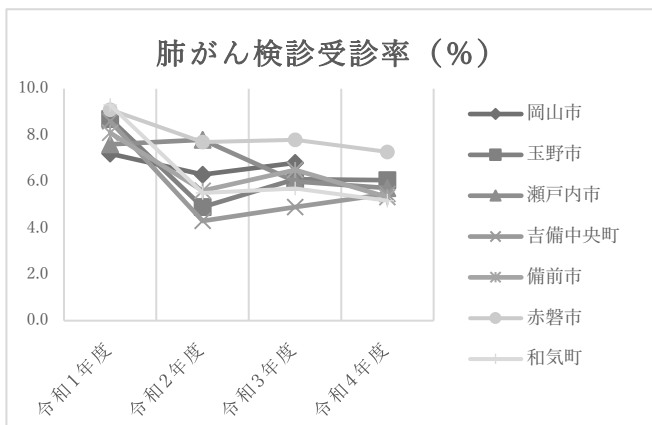
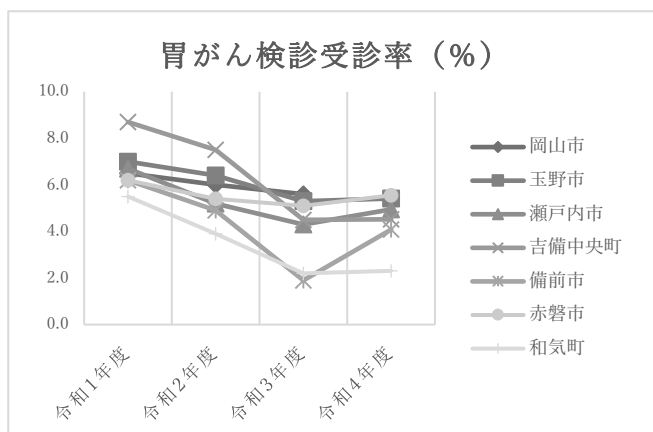
(単位：%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	17.5	15.7	15.3	—
玉野市	17.3	16.6	15.0	13.7
瀬戸内市	24.3	23.1	21.2	22.8
吉備中央町	21.6	18.9	14.2	13.7
備前市	15.8	15.7	14.6	14.4
赤磐市	17.2	16.2	19.1	19.2
和気町	18.2	18.9	18.1	17.1
圏域	17.7	16.1	15.7	—
岡山県	18.6	18.0	17.6	—

⑤子宮がん

(単位：%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	11.2	10.9	11.0	—
玉野市	10.8	10.5	9.9	9.9
瀬戸内市	20.7	18.7	17.8	19.8
吉備中央町	16.6	14.2	10.2	10.4
備前市	12.0	12.3	11.4	11.4
赤磐市	15.1	15.8	16.6	16.7
和気町	13.4	12.5	12.0	12.7
圏域	11.9	11.5	11.5	—
岡山県	14.1	13.9	13.8	—



イ がん検診精密検査受診率

①胃がん (単位：%)

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
岡山市	80.6	92.4	92.7
玉野市	89.1	86.8	85.4
瀬戸内市	95.0	97.4	94.4
吉備中央町	91.7	86.7	100.0
備前市	94.5	100.0	82.5
赤磐市	82.5	82.9	66.7
和気町	87.7	84.1	100.0
圏域	83.7	91.5	89.7
岡山県	83.8	85.0	85.2

②肺がん (単位：%)

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
岡山市	78.8	82.6	75.7
玉野市	92.7	97.1	95.3
瀬戸内市	100.0	100.0	100.0
吉備中央町	77.8	100.0	100.0
備前市	100.0	100.0	52.9
赤磐市	93.8	93.1	89.7
和気町	—	100.0	100.0
圏域	82.8	84.8	77.9
岡山県	78.8	83.9	79.8

③大腸がん (単位：%)

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
岡山市	74.5	76.7	77.2
玉野市	89.5	88.2	89.3
瀬戸内市	89.0	86.7	85.1
吉備中央町	86.1	86.0	76.2
備前市	77.7	75.7	79.4
赤磐市	82.0	70.2	76.9
和気町	84.8	84.3	84.6
圏域	77.2	77.9	78.4
岡山県	75.3	75.0	75.0

④乳がん (単位：%)

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
岡山市	93.8	92.4	95.9
玉野市	97.1	87.7	92.6
瀬戸内市	100.0	95.8	96.0
吉備中央町	100.0	100.0	83.3
備前市	97.1	89.2	100.0
赤磐市	92.3	91.8	82.4
和気町	100.0	100.0	100.0
圏域	94.3	92.3	95.3
岡山県	93.8	92.7	93.7

⑤子宮がん (単位：%)

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
岡山市	87.0	91.6	92.7
玉野市	80.0	100.0	100.0
瀬戸内市	95.8	87.5	76.5
吉備中央町	100.0	100.0	66.7
備前市	50.0	71.4	100.0
赤磐市	81.8	95.2	71.0
和気町	100.0	100.0	100.0
圏域	87.3	91.6	90.1
岡山県	85.9	87.0	83.6

② 脳卒中

項目	施策の方向	進捗状況
脳卒中の予防	○県民が高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病に関する正しい知識を持つよう、生活習慣の改善に関する知識の普及啓発を行い、脳卒中の発症予防を	○特定健診保健指導や健康づくりの取組について情報交換の場を持ち、市町が効果的な取組ができるよう支援しています。

	<p>図ります。また、愛育委員会や栄養改善協議会と協働で健康づくりを推進します。</p>	<p>○市町を中心に、愛育委員会では健診の受診勧奨を、栄養改善協議会では減塩普及活動やバランスのとれた食生活の普及を実施し、高血圧対策に努めています。</p>
<p>救護・救急体制の充実</p>	<p>○市町や健康づくりボランティアと連携し、広報誌や講演会等により、本人や家族等周囲にいる者が、早く脳卒中の症状に気づき受診につながるよう、啓発に取り組めます。</p> <p>○「もも脳ネット」※1等の検討の場で、急性期医療機関間や消防機関との連携について協議し、発症後4.5時間以内のt-PA※2静脈内投与による血栓溶解療法など、迅速かつ適切な治療開始体制を確保します。</p>	<p>○脳卒中月間など、市町や健康づくりボランティアと連携し、啓発運動を進めています。</p> <p>○急性期医療機関が連携を図りながら、現状や課題の共有、地域連携パスの活用や改訂、県民への普及啓発等に取り組んでいます。</p>
<p>医療提供体制の整備</p>	<p>○脳卒中の急性期から回復期、維持期、在宅療養のそれぞれの過程に応じて治療等の診療情報を共有しながら対応できるよう、「もも脳ネット」と連携し、地域連携クリティカルパス※3の活用を進めます。</p> <p>○医師会等と連携し、地域特性に応じた在宅医療連携について検討し、脳卒中在宅パスを活用し、在宅の脳卒中患者が必要に応じて福祉サービスや歯科医療等のサービスが受けられるようにします</p>	<p>○「もも脳ネット」や岡山県介護支援専門員協会の協力により、急性期から維持期への円滑な連携が図られるようパスの活用や関係機関の連携強化に向けて研修会や普及啓発を行っています。</p>

※1 もも脳ネット：地域医療連携が継ぎ目なく円滑に行われ、良質の医療を提供することを目的に設立された会です。

※2 t-PA療法（血栓溶解療法・静脈内投与）：脳梗塞の特徴である脳の血栓（血のかたまり）を溶かす療法で、t-PA療法の適応判定をした上で、発症から3時間以内に静脈注射をすることにより、脳の血流を再開させ、脳細胞の壊死を防ぐ治療です。

※3 地域連携クリティカルパス：急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関や関係機関で共有して用いるものです。

【参考資料】

ア 圏域の脳卒中の医療連携体制を担う医療機関 (令和4年12月1日)

圏域	急性期			回復期	維持期	
	A	B	C		療養病床を有する施設	在宅医療
圏域	10	1	6	18	23	19
岡山県	15	4	11	49	75	58

(資料：岡山県医療推進課「脳卒中の医療連携体制を担う医療機関届」)

注) 急性期 A：超急性期の専門的な診療が24時間可能な医療機関

急性期 B：専門的な診療が24時間可能な医療機関

急性期 C：専門的な診療が診療時間内に可能な医療機関

イ 脳卒中医療連携普及推進事業

年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実務者会議	4回	2回	1回	2回	2回
普及啓発	1回 (県民フォーラム)	1回 (県民フォーラム)	新型コロナ感染症拡大防止のため中止	2回(県民フォーラム、ポケットティッシュ作成)	1回(県民フォーラム、クリアファイル作成)

(資料：備前保健所調査資料)

③ 心筋梗塞等の心血管疾患

項目	施策の方向	進捗状況
急性心筋梗塞の予防	○生活習慣病に関する正しい知識を持つよう、生活習慣の改善に関する普及啓発を行います。また、愛育委員会・栄養改善協議会と協働し、健康づくりを推進します。	○生活習慣の改善に関する普及啓発を、市町を中心に、特定健診受診勧奨や特定保健指導、結果説明会、健康相談、健康教室等で行っています。 ○愛育委員による声かけ運動や研修会を通じ、生活習慣病に関する正しい知識の普及に努めています。 ○栄養改善協議会や市町の栄養教室でメタボリックシンドロームの予防やバランスのとれた食生活などについて、研修や料理講習を行い、普及啓発を行っています。
救護・救急体制の充実	○AED設置箇所の増加と蘇生法の普及啓発を進めます。	○市町を中心に、AED設置の普及や救急蘇生法講習が行われています。
医療提供体制の整備	○県南東部地域医療連携推進会議等により、急性期医療機関・回復期医療機関・かかりつけ医の	○県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、特定行為等による救命蘇生の適切な

	<p>医療連携の推進を図ります。</p> <p>○県南東部メディカルコントロール協議会の活動を通じて、特定行為等による救命蘇生の適切な実施、急性期医療機関への迅速な搬送等により、当圏域における救急医療体制の整備を推進します。</p>	<p>実施、急性期医療機関への迅速な搬送等により、当圏域における救急医療体制整備について検討しています。</p>
--	--	--

【参考資料】

ア 公的施設の AED 設置数 (単位：台)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	397	401	414
管内	277	286	302

(資料：備前保健所調査資料)

イ 圏域の急性心筋梗塞の医療連携体制を担う医療機関数 (令和5年2月28日現在)

	急性期	回復期	再発予防
圏域	10	17	37
岡山県	13	27	96

(資料：岡山県医療推進課「急性心筋梗塞の医療連携体制を担う医療機関届」)

ウ 急性心筋梗塞地域連携推進事業 (令和1年度で事業終了)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
実務者会議	5回	4回	3回	3回	3回
研修会	2回	4回	3回	4回	2回
普及啓発	1回 (県民フォーラム)	地域連携パス普及啓発	地域連携パス普及啓発	地域連携パス普及啓発	地域連携パス普及啓発

(資料：備前保健所調査資料)

④ 糖尿病

項目	施策の方向	進捗状況
予防・早期発見	<p>○愛育委員会・栄養改善協議会や健康おかやま21推進団体等と協働して、糖尿病の危険因子や初期症状、合併症、予防の必要性について県民に対し広く啓発し、予防と早期発見に努めます。</p> <p>○地域・職域保健連携推進協議会の開催等により、特定健康診査の受診率向上に取り組み</p>	<p>○市町を中心に、糖尿病の早期発見のために愛育委員による健診の受診勧奨や栄養委員によるバランスのとれた食生活の普及を行っています。</p> <p>○健診受診率の向上や糖尿病の重症化予防等の情報交換を行いながら、各市町のデータヘルス計画が推進される</p>

	ます。	よう、課題を整理するなど市町支援を行っています。
地域における医療連携体制の整備	<p>○医師会等と連携し、地域連携に参画する初期・安定期治療等の医療機関を増やすとともに、地域連携クリティカルパスの活用により、予防・治療の各ステージに応じた治療及び栄養や運動指導等が効果的になされるよう、医療連携体制の構築を図ります。</p> <p>○県民に良質かつ適切な医療を効率的に提供し、糖尿病の自己管理による生活の質の確保・向上を図るために、岡山県栄養士会等と連携し、入院時から在宅に至る地域一体型のシームレスな糖尿病の栄養管理支援体制の構築を図ります。</p>	○予防や各ステージに応じた治療、栄養・運動指導等が効果的に受けられるように、医師会や専門医療機関、総合管理医との連携体制づくりに努めています。
糖尿病医科歯科医療連携の推進	<p>○市町と連携し、県民に対して糖尿病と歯周疾患の関係について啓発します。</p> <p>○県南東部地域医療連携推進会議等を通じて、糖尿病の医科歯科連携を推進します。</p>	○各市町で開催されている医療と介護の連携会議や研修会の場に医師、歯科医師も参加し、普及啓発や連携を図っています。

【参考資料】

ア 圏域の糖尿病の医療連携体制（令和5年3月31日）

（単位：施設）

	総合管理	専門治療	慢性合併症					急性増悪時治療
			糖尿病性網膜症	糖尿病腎症	糖尿病神経障害	動脈硬化疾患	歯周病	
圏域	134	12	16	12	21	11	155	9
岡山県	311	27	28	27	35	17	293	18

（資料：岡山県健康推進課「糖尿病の医療連携体制を担う医療機関等一覧」）

イ 糖尿病等栄養管理連携システム活用事業（令和2年度で事業終了）

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
研修会	3回	4回	4回
集団個別指導	12 医療機関	15 医療機関	2 医療機関

（資料：備前保健所調査資料）

ウ 特定健康診査受診率

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
岡山市	29.1	30.5	30.3	27.2	32.2
玉野市	21.9	24.0	32.9	27.7	29.6
瀬戸内市	39.9	40.0	38.2	36.8	40.3
吉備中央町	29.4	31.2	31.4	25.5	25.2
備前市	39.2	39.0	38.1	34.7	36.3
赤磐市	28.5	30.2	32.6	29.7	30.7
和気町	35.2	36.2	37.8	36.8	40.4
圏域	29.6	31.0	31.6	28.4	32.6
岡山県	29.5	29.3	30.5	28.7	31.5

(資料：国民健康保険中央会特定健康診査等実施状況データ) ※令和3年度は速報値

⑤ 精神疾患

項目	施策の方向	進捗状況
精神疾患の予防 早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ○心の健康づくり、自殺予防、アルコール関連問題に関する啓発や精神障害に対する心のバリアフリー（偏見の解消）を推進します。 ○自死遺族の集いや、市町における精神保健福祉相談等を実施し、地域相談支援体制を充実します。 ○高齢者の自殺予防対策には、地域のソーシャルサポート体制が効果的であることから、愛育委員会、栄養改善協議会、民生委員会、老人クラブ等と連携し、地域で高齢者を支え合うネットワークづくりに努めます 	<ul style="list-style-type: none"> ○心の健康づくり、自殺予防、アルコール関係問題に関する啓発や精神障害に対するバリアフリーを、研修会等を通じて推進しています。 ○自死遺族の集いや、市町における精神保健福祉相談等を実施し、相談体制づくりに努めています。 ○愛育委員会、栄養改善協議会、民生委員会、老人クラブ等と連携し、地域での声かけや各組織の事業を協働することなどを通じて、地域で高齢者が支え合うネットワークづくりに努めています。
患者・家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○精神科病院の長期入院患者について、病院、市町や地域活動支援センター等の関係機関と連携したネットワークづくり等の支援体制の整備を行い、地域生活への移行に向けた取組を進めます。 ○未治療、治療中断者については、関係機関と連携しアウトリーチ事業等の活用により、地域生活が維持できるよう支援に努めます。また精神障害が疑われる通報に対しては、人権に配慮しながら迅速・適正に対応するとともに、支援が途切れることがな 	<ul style="list-style-type: none"> ○病院、市町、地域活動支援センター等と連絡会議や事例検討を行うことにより、地域生活への移行に向けた取り組みを進めています。 ○未治療、治療中断者については、市町や精神保健福祉センター等と連携しながら、医師を含めた多職種チームによる訪問支援等、地域生活が維持できるよう支援に努めています。 また、法に基づく通報事例等については、早期に適切な支援を行うとともに、支援が途

	<p>いよう警察等関係機関との連携強化を図ります。</p> <p>○市町や地域活動支援センター等とも連携し、地域のピアサポーターと交流を図る等患者会や家族会の交流事業を行います。</p>	<p>切れることがないように、関係機関との連携強化を図っています。</p> <p>○関係機関と連携し、地域のピアサポーターと交流を図るなど、患者会や家族会の支援をしています。</p>
救急体制の充実	<p>○精神科疾患と身体科疾患を合併した救急患者に適切に対応するため、岡山県精神科救急情報センターの活用により、精神科医療機関、救急隊や身体科救急病院との円滑な連携の推進に努めます。</p>	<p>○岡山県精神科救急情報センターによる、救急隊や身体科救急病院からの精神科かかりつけ医に対する照会や、対応に係る相談体制ができ、円滑な連携を推進しています。</p>
認知症支援体制	<p>○「岡山県備前地域認知症疾患医療連携協議会」を通じて認知症の早期発見や早期診断、医療や介護が適切に提供できる体制づくりを支援します。</p> <p>○認知症疾患医療センターと市町村及び地域包括支援センターの連携を促進します。</p> <p>○「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に掲げる認知症初期集中支援チーム等の活動が、各市町村において円滑に進むよう支援します。</p> <p>○連絡会議や研修会等を通じて、認知症の人が早期から適切なサービスを受けることができる体制の整備、見守りネットワークの構築や介護家族に対する支援等、市町村が取り組む認知症施策の推進を支援します。</p>	<p>○「岡山県備前地域認知症疾患医療センター地域連携会議」を通じて認知症の早期発見や早期診断、医療や介護が適切に提供できる体制づくりを支援しています。</p> <p>○研修会等を通じて認知症疾患医療センターと市町村及び地域包括支援センターの連携を促進しています。</p> <p>○研修会を開催し「認知症施策推進大綱」に掲げる認知症初期集中支援チーム等の活動が、各市町村において円滑に進むよう支援しています。</p> <p>○「認知症介護家族交流会」等の研修会や連絡会議等を通じて、認知症の人が早期から適切なサービスを受けることができる体制の整備、見守りネットワークの構築や介護家族に対する支援等、市町村が取り組む認知症施策の推進を支援しています。</p>

⑥ 救急医療

項目	施策の方向	進捗状況
救急医療機関での受診	○市町及び愛育委員会や栄養改善協議会等の関係団体と連携し、県民に対して、適切な救急医療	○市町及び関係団体と連携し、県民に対して、救急医療機関への適切な受診について普

	機関での受診についての普及啓発を図ります。	及啓発に努めています。
二次、三次救急医療体制	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、救急搬送等救急医療体制の在り方や充実策について検討するとともに、#8000（小児救急医療に係る電話相談窓口）等により、県民に対して救急医療について啓発をします。	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、救急搬送等の現状や課題、救急医療体制の在り方等についての協議をしています。 ○#8000の利用状況は、県下で最も多い状況ですが、引き続き適正な受診ができるよう普及啓発に努めます。
救急救命士の養成	○県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、救急救命士や指導救命士の養成に努めます。	○県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、救急救命士の認定に関する現状や課題、新処置拡大の実施状況等の共有を図っています。
救急搬送	○災害・救急医療情報システムの活用等による医療機関の情報共有化やドクターヘリの活用等を図り、救急搬送体制の充実を図ります。	○災害時、医療機関の稼働状況等災害医療に関する情報を迅速に把握し、適切な医療救護体制を確保するため、関係機関へシステム活用訓練への参加勧奨を行っています。

⑦ 災害時における医療

○災害拠点病院：県下12病院、うち県南東部圏域は6病院（令和5年3月31日現在）

項目	施策の方向	進捗状況
関係団体との連携及び医療情報の収集	○災害発生時に、迅速かつ的確な医療支援が行えるよう、広域災害救急医療情報システム（EMIS）の活用推進を図るとともに、災害拠点病院、医師会や医療機関等との連携体制を強化します。 ○市町と連携し、災害時要配慮者に対する支援シートの作成を通じて医療支援体制の整備を進めます。	○災害発生時に、迅速かつ的確な医療支援が行えるよう、本庁と連携を図りながら、平時から訓練を行う等、災害拠点病院や医師会、医療機関との連携を図っています。
災害時の医療体制の強化	○市町や医師会等と情報共有を図りながら災害時における医療救護体制の確保を図ります。 ○当圏域の災害時に災害派遣医療チーム（DMAT）、日本医師会 災害医療チーム（JMAT）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）及び	○市町と情報共有し、災害時要援護者の医療体制の確保に努めています。 ○熊本県豪雨災害時には、岡山県からも公衆衛生活動チームを派遣し、被災者の支援を行いました。

	<p>医療救護班が災害早期から円滑な対応ができるよう、医師会等との連携強化を図ります。</p> <p>○岡山県精神科医療センター、精神保健福祉センターや精神科医会等と連携し、被災者に対するメンタルヘルスケアを実施します。</p>	
災害医療に関わる保健所機能の強化	○災害時に適切な対応ができるよう、研修等により職員の資質向上に努めます。	○災害時に適切な対応ができるよう、研修等により職員の資質向上に努めています。

⑧ へき地の医療

項目	施策の方向	進捗状況
へき地における診療機能の充実	<p>○市町、へき地医療拠点病院等と連携し、へき地医療の確保に努めます。</p> <p>○へき地の高齢者の急変等に対応するため、かかりつけ医や地域の救急医療機関等との連携を進めます。</p>	○市町等と連携を図り、関係機関との連携に努めています。

【参考資料】

ア 無医地区および無医地区に準じる地区（令和元年10月末日現在）

	無医地区	無医地区に準じる地区
岡山市	3地区	
岡山地域	玉野市:1地区	
東備地域		備前市:3地区

（資料：厚生労働省調査）

⑨ 周産期医療

項目	施策の方向	進捗状況
ハイリスク妊産婦・新生児への支援	○周産期医療機関や市町と連携し、ハイリスク妊産婦、新生児への支援が効果的に行えるような体制整備を図ります。	<p>○妊娠期からの保健医療連携会議や研修会を開催し、ハイリスク妊婦の切れ目ない支援体制について、現状と課題の共有や顔の見える関係づくりに取り組んでいます。</p> <p>○市町は、妊娠届出時の面接から、関係する産科医療機関との話し合いや連携に取り組んでいます。</p> <p>○子育て世代包括支援センターが5市町で設置され、切れ目のない支援体制づくりに取り組んでいます。</p>

【参考資料】

ア 周産期死亡率（出産千対）

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
岡山市	3.1	3.0	2.9	2.1	2.6
岡山地域	1.7	8.8	3.5	0.0	5.9
東備地域	5.1	3.8	0	4.2	2.2
岡山県	3.7	4.3	2.9	2.4	2.9

（資料：厚生労働省「人口動態統計」）

イ 妊娠届出週数の状況（妊娠11週までに届出を行った妊婦の割合）（単位：％）

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
岡山市	95.1	95.5	95.3	95.7	95.6
岡山地域	92.8	95.1	94.1	95.2	95.6
東備地域	94.4	92.3	92.3	95.4	94.6
岡山県	94.7	95.2	94.7	95.5	95.5

（資料：岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」）

ウ 妊娠期からの保健・医療連携研修会（※岡山市と共催で実施している）

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
実施回数	1回	1回	1回	1回	1回
延参加者数	91名	79名	29機関	77名	59名
内容	・活動紹介 ・事例検討 ・グループワーク	・情報提供 ・パネルディスカッション ・グループワーク	・事前アンケート 集計結果報告 ・事例提供紹介 及び意見交換	・事例紹介 ・グループワーク	・講話 ・活動紹介 ・グループワーク

（資料：備前保健所「業務概要報告書」）

⑩ 小児医療（小児救急医療を含む）

項目	施策の方向	進捗状況
小児（救急）患者の症状に応じた救急医療受診体制の確保	○市町や保育所、幼稚園及び愛育委員会や栄養改善協議会と連携して、小児救急医療電話相談事業の活用等小児救急についての普及啓発を進めます。	○小児救急医療電話相談のリーフレットを活用して、市町の乳幼児健診等で普及啓発を行っています。 ○愛育委員会等において情報提供を行い、地域の声かけ活動での普及啓発を行っています。
小児（救急）医療体制の充実	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において小児救急医療の現状や課題について共有を図り、小児救急医療の充実を支援します。	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、経年的な小児救急搬送の人員の状況等、小児救急医療の現状の共有を図るとともに、引き続き、適正受診について周知していきます。

【参考資料】

ア 救急搬送された小児患者のうち、「軽症」の者の割合（単位：％）

	令和1年	令和2年	令和3年
岡山市	75.3	73.7	77.0
岡山地域	75.8	77.8	83.0
東備地域	78.1	76.5	77.3
岡山県	76.5	73.9	77.0

※岡山市消防局に吉備中央町も含む

（資料：岡山県危機管理課・消防保安課「消防防災年報」）

イ 小児救急医療電話相談件数（#8000）（単位：件）（）内は年少人口千対

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
圏域	10,262 (88.79)	10,565 (92.58)	6,042 (53.56)	6,215 (55.84)	7,102 (65.02)
岡山県	17,056 (71.47)	17,345 (73.69)	9,977 (42.86)	10,457 (46.28)	11,874 (53.51)

（資料：岡山県医療推進課）

⑪ 在宅医療

項目	施策の方向	進捗状況
地域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○急性期～回復期・維持期～在宅の医療連携体制の充実を図ります。特に、入退院時のルールづくりや、在宅パスの活用が図られるよう普及に努め、地域連携を推進し、在宅ケアの充実に努めます。 ○地域包括支援センターとともに訪問看護ステーションの役割・機能の充実を図ります 	<ul style="list-style-type: none"> ○脳卒中を中心に、急性期から維持期への円滑な連携が図られるようパスの活用や関係機関の連携強化に向けて研修会や普及啓発を行っています。
在宅医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○県南東部地域医療連携推進会議や研修会等により、医師会等関係団体や市町と協働し、在宅医療の推進を図ります。 ○市町が地域包括ケアシステムの構築のため医師会等と連携して取り組む「在宅医療・介護連携推進事業」をはじめとして、在宅医療の連携推進のため、広域的な視点に立った支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度からは介護保険事業の中で医療と介護の連携が図られ、保健・福祉・医療関係者の研修会や検討会を行っています。
在宅歯科診療連携体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な市町村の在宅医療連携の取り組みの中で、歯科医師会と連携し、訪問歯科診療を実施する歯科診療所の充実に努め、在宅での連 	<ul style="list-style-type: none"> ○脳卒中を中心とした多職種連携研修会では、口腔機能と栄養管理等をテーマに、課題の検討や効果的な取組の共

	携体制の整備を図ります。	有などを行っています。
薬剤師による訪問薬剤管理指導の推進	○在宅医療と介護の連携の推進を通じて、訪問薬剤管理指導の推進を図ります。	○多職種による研修会や協議の場を通じて、薬剤師との連携強化を図っています。

【参考資料】

ア 在宅支援病院及び診療所の状況

(令和4年4月1日現在)

	在宅療養支援病院	在宅療養支援診療所	在宅療養支援歯科診療所	訪問薬剤指導薬局数
岡山市	14	157	71	322
玉野市	3	7	2	27
瀬戸内市	0	9	4	12
吉備中央町	0	3	0	2
備前市	1	3	3	8
赤磐市	0	5	7	15
和気町	1	2	3	5
圏域	18	188	90	391

(資料：中国四国厚生局「保険医療機関等の施設基準の届出受理状況等」)

イ 医療と介護の連携促進のための「草の根」事業

	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
研修会	10回	2回	中止	1回	1回
評価事業	7回	8回	7回	3回	4回

(資料：備前保健所「業務概要報告書」)

(3) 公的病院等が担う役割

項目	施策の方向	進捗状況
救急医療の充実	○救急告示病院として傷病者の受入れを推進するとともに、協力病院当番制病院への積極的参加を推進し、公的病院における救急医療の充実を図ります。	○県南東部メディカルコントロール協議会等において、課題の共有や解決策の検討等、関係者の連携強化を図っています。
県民に信頼・安心される病院の実現	○地域連携の中心的役割を果たし、回復期リハビリテーションの実施や地域の診療所と連携した24時間診療体制による在宅医療を支援するなど、県民に信頼・安心される病院の実現を図るため、自治体病院の検討会議等を通じて支援します。	○地域医療構想調整会議等において、地域の関係者と、公的病院の在り方をはじめ、今後の経営計画も含め、具体的な内容について協議を行っています。
診療体制の充実	○研修医をはじめとする医師に対して、地域医療の魅力についての情報提供等により、医師確保を支援します。	○岡山県地域医療支援センターと各病院が連携を図り、地域の医師確保に努めています。

(4) 医療安全対策

項目	施策の方向	進捗状況
医療安全相談窓口	○地域の医療関係機関等と連携し、各機関において、医療安全相談に適切に対応する体制を構築するよう努めます。	○相談者の了解が得られた事案については、対象の医療機関へ情報提供し、適切な対応ができる体制整備に努めています。
医療の安全確保	○院内感染や医療事故に関する情報等の迅速な情報提供に努めるとともに、医療機関への立入検査等を通じて安全管理体制の状況を把握する等、医療機関における適切な医療安全対策を進めます。	○病院への立ち入り検査を実施し、安全管理体制の確保や院内感染防止を進めています。

【参考資料】

ア 医療機関の立ち入り検査（令和4年度）（単位：件）

		立ち入り検査	書面審査
岡山市	病院	34	22
	診療所	1	0
管内	病院	4	16
	診療所	2	0

（資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」）

イ 医療安全相談（単位：件）

	令和4年度
岡山市	346
管内	14

（資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」）

(5) 医薬分業

項目	施策の方向	進捗状況
効果的な普及啓発	○医薬分業の趣旨とメリットが広く理解されるよう、市町、薬剤師会と連携し、「薬と健康の週間」を中心に啓発活動に積極的に取り組みます。	○医薬分業の趣旨が正しく県民に理解されるよう、市町、薬剤師会と連携し、「薬と健康の週間」を中心に啓発活動を行っています。
かかりつけ薬局の定着	○医師会、歯科医師会及び薬剤師会等関係団体と連携し、「かかりつけ薬局」の定着を促進します。 ○糖尿病等の在宅医療地域連携の推進を通じて、複数医療機関受診における「かかりつけ薬局」の重要性を関係者間で共有します。	

4 保健医療対策の推進

① 健康増進・生活習慣病予防

項目	施策の方向	進捗状況
健康増進活動の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ○「第2次健康おかやま21」や市町の健康増進計画の推進を支援します。 ○愛育委員会、栄養改善協議会等の関係団体と協働し、健康づくりや食育の取組を推進します。 ○「禁煙・完全分煙実施施設認定事業」、「栄養成分表示の店登録事業」について関係団体と協働して認定・登録施設数の拡大に取り組むとともに、広く住民に啓発します。 ○愛育委員、栄養委員が健康づくりボランティアとして地域の活動が効果的に展開できるよう、自主活動への取組を支援します。 ○健康増進のためのプログラム（「晴れの国33プログラム」等）の普及や活用により、県民が主体的に健康づくりに取り組む気運を醸成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町の第2次健康増進計画の策定見直しや推進に向けて、計画進会議・検討会の場に参画しています。 ○愛育委員会、栄養改善協議会の理事会や研修会、各市町の委員会活動を通じ健康づくりや食育の取組を推進しています。 ○健康づくりのための環境整備として、平成31（2019）年4月1日より全面施行された健康増進法の一部改正に伴い新設された、県の「敷地内全面禁煙実施施設認定制度」や「栄養成分表示の店登録事業」に取り組み、認定・登録施設の増加に努めています。 <p data-bbox="948 1093 1182 1126"><R5.3.31時点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内全面禁煙実施施設数 424 ・栄養成分表示登録店数 136 <ul style="list-style-type: none"> ○愛育委員会、栄養改善協議会が実施する各種活動に行政も協力し、組織活動を支援しました。活動の成果が見えることにより、やりがいにつながるよう、地域の課題や取組効果について情報提供しました。 ○晴れの国33プログラムは終了しましたが、おかやま健康づくりアワードなどにより、職場や地域で健康づくり活動に積極的に取り組む気運を高めるとともに、企業への出前講座等を実施しています。
生活習慣病予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「第2次健康おかやま21」の基本理念に沿って一次予防の取組を強化します。地域・職域保健連携推進会議等により、職域と地域保健関係者が連携した取 	<ul style="list-style-type: none"> ○働く世代からの健康づくりを推進するため、地域職域保健連携会議を開催しています。全国健康保険協会岡山支部や商工会等の関係団体と連携し事業

	<p>組支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向け、関係団体と連携してデータヘルス計画の推進に対する支援を行います。 ○関係団体と連携し、県民にがんについての情報を提供し、がん検診受診率の向上に努めます。 ○血糖値異常者等が増加していることから、岡山県栄養士会等と連携し、県民への健康教育や保健指導の充実に取り組めます。 	<p>所と連携した取組を推進しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定健診保健指導やデータヘルス計画の推進のため、各市町へのヒアリングや情報提供や情報交換の場をもち、より効果的な取組ができるよう働きかけています。圏域の2市において平成29年(2017)年度から糖尿病地域医療連携推進モデル事業に取り組み、一次予防から三次予防における連携体制の基盤が整いました。 ○がん検診受診率向上のために、管内研修会の場を持ち検診制度改正に伴う体制づくりも含め協議しました。 ○岡山県栄養士会等と連携し、県民への健康教育や保健指導の充実に取り組んでいます。
--	---	--

【参考資料】

ア 「敷地内全面禁煙実施施設」認定事業の状況
市町村別認定状況 (単位：施設数)

	令和2年	令和3年	令和4年
岡山市	252	259	266
玉野市	37	39	40
瀬戸内市	18	18	18
吉備中央町	48	49	49
備前市	21	21	21
赤磐市	19	19	19
和気町	11	11	11
計	406	416	424

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

イ 「栄養成分表示店」登録事業の状況 (単位：施設数)

	登録施設数					累計
	平成30年度認定	令和元年度認定	令和2年度認定	令和3年度認定	令和4年度認定	
岡山市	3	1	1	0	1	80
玉野市	0	0	0	0	0	17
瀬戸内市	1	0	1	0	0	7
吉備中央町	0	0	0	0	0	2
備前市	1	2	0	0	0	8
赤磐市	3	0	0	0	0	12
和気町	2	0	0	0	0	10
圏域	10	3	2	0	1	136
岡山県	49	8	2	1	3	279

(資料：備前保健所「業務概要報告書」)

ウ 愛育委員・栄養委員数（令和5年4月1日現在）

	愛育委員		栄養委員	
	地区数	委員数	地区数	委員数
岡山市	98	5,371	88	1,812
岡山地域	44	1,272	36	504
東備地域	20	608	22	407
圏域	162	7,251	138	2,817
岡山県	473	16,898	410	6,058

（資料：備前保健所「各組織調べ」）

エ 特定健康診査受診率

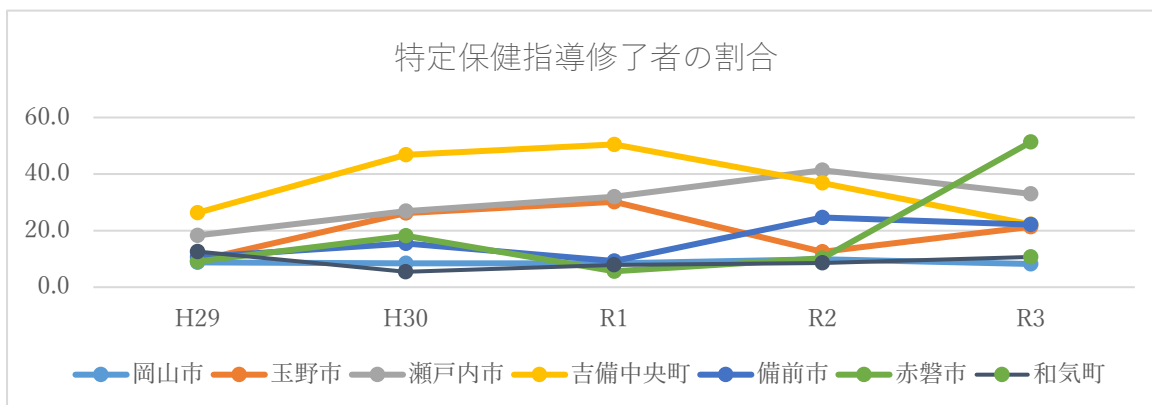
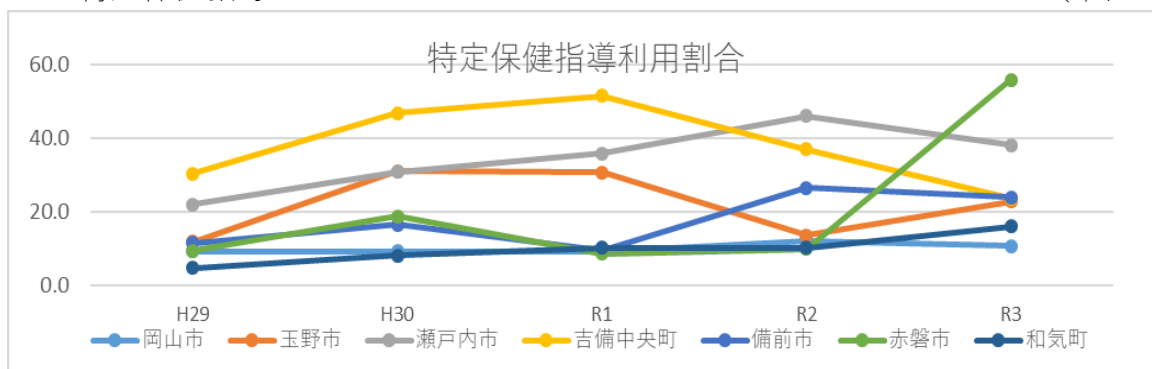
（単位：％）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
岡山市	29.1	30.5	30.3	27.2	32.2
玉野市	21.9	24.0	32.9	27.7	29.6
瀬戸内市	39.9	40.0	38.2	36.8	40.3
吉備中央町	29.4	31.2	31.4	25.5	25.2
備前市	39.2	39.0	38.1	34.7	36.3
赤磐市	28.5	30.2	32.6	29.7	30.7
和気町	35.2	36.2	37.8	36.8	40.4
圏域	29.6	31.0	31.6	28.4	32.6
岡山県	29.5	29.3	30.5	28.7	31.5

（資料：国民健康保険中央会特定健康診査等実施状況データ）※令和3年度は速報値

オ 特定保健指導

（単位：％）



※修了割合 = 修了者数/対象者数 × 100

（資料：国民健康保険中央会特定健康診査等実施状況データ）

② 母子保健

項目	施策の方向	進捗状況
母子保健活動の推進	<p>○妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置を促進します。</p> <p>○愛育委員会や保育所、幼稚園など地域の関係機関と連携し、乳幼児健康診査の受診率の向上を目指します。</p> <p>○市町は、妊婦面接、新生児訪問、乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健康診査に積極的に取り組むとともにハイリスク妊産婦・新生児連絡票の活用を進め、産科医療機関等との連携を図り、妊娠・出産期からの切れ目のない支援を実施し、子育ての不安や負担感に早期に対応し、児童虐待予防に努めます。</p> <p>○成長発達に課題を持つ児を市町の乳幼児健康診査等の機会に早期に発見し、その児が適切な療育を受けられるよう、子どもの健やか発達支援事業や市町が行う要観察児教室、発達障害児を抱える親の集い事業等により、保健、医療、福祉分野が連携した地域の支援体制づくりに取り組みます。</p>	<p>○子育て世代包括支援センターは圏域内の全ての市町に設置されました。(R5.4.1)</p> <p>○健診未受診児家庭を確実に把握し、受診勧奨を保育所や幼稚園等と連携して行う等、早期支援に努めています。</p> <p>○市町では、母子健康手帳交付時の面接や乳児全戸訪問事業、乳児健診など、伴走型相談支援等により、早期から支援を行うとともに支援が継続する体制整備を行っています。</p> <p>○ハイリスク妊産婦連絡票や気になる母子支援連絡票の活用が進むよう、県南東部圏域で産科、精神科医療機関と行政（保健）関係者との連絡会議や研修会に取り組んでいます。</p> <p>○県保健所・支所では市町と連携し、発達が気になる児とその親を対象に専門医等による、子どもの健やか発達支援事業に取り組んでいます。また、市町では要観察児教室などに取り組んでいます。</p> <p>○自立支援協議会子ども部会や保育園と小学校の連携会議などをおして、保健医療福祉教育関係者が連携した切れ目のない支援に努めています。</p>
育児支援の環境づくり	<p>○地域ぐるみで子育て支援が推進できるよう、当圏域の愛育委員会、栄養改善協議会で継続実施している「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」などを支援し、地域の育児力の向上を進めます。</p>	<p>○愛育委員と栄養委員が連携して管内で取り組んでいた「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」は、令和3年度より市町主体での活動へ移行し、地域の育児力の向上に向けて継続して取り組んでいます。</p> <p>○愛育委員や栄養委員による声かけ運動や親子料理教室、中高生と赤ちゃんとのふれあい体験事業など実施し育児力の向上に努めています。</p>

<p>早期妊娠届出の推進</p>	<p>○市町を中心に愛育委員会とも連携し、妊娠 11 週までのできるだけ早い時期に妊娠届出をするよう啓発を行います。</p>	<p>○市町を中心に、妊娠 11 週までの早期に届出を出すよう啓発し、年々増加しています。 令和元年度：94.7% 令和 2 年度：95.5% 令和 3 年度：95.5%</p>
<p>妊娠期における喫煙、飲酒及びうつ予防対策の推進</p>	<p>○妊娠・出産届出時の面接や妊産婦訪問等において、市町が育児中の親への喫煙・飲酒についての健康教育が適切に行えるよう、支援します。</p> <p>○産後のうつなど産後のトラブル等の予防対策が適切に行えるよう、産科医療関係者と連携し、ハイリスク連絡票と気になる母子支援連絡票の活用等により、妊娠期から切れ目のない支援を行います。</p> <p>○愛育委員会・栄養改善協議会や学校と協働し、思春期からの健康づくりを行います。</p>	<p>○市町での妊娠・出産届出時の面接や家庭訪問等において、妊娠・育児中の喫煙・飲酒のリスクについて情報提供や相談など行っています。</p> <p>○ハイリスク妊産婦連絡票や気になる母子支援連絡票の活用が進むように、県南東部圏域で産科、精神科医療機関と行政（保健）機関の連絡会議や研修会に取り組んでおり、連絡票の利用件数は年々増加しています。</p> <p>○思春期の子どもと赤ちゃんとのふれあい体験学習や、未来のパパママを育てる出前講座の開催など、愛育委員や栄養委員、学校関係者、行政（保健）機関とで連携して取り組んでいます。</p> <p>出前講座やふれあい体験学習に参加した生徒からは、命を大事にしたい、将来結婚し子育てをしたいという声が寄せられています。</p>

【参考資料】

ア 市町における妊婦訪問の状況（各年度の妊娠届出数に対する家庭訪問実数の割合）
（単位：％）

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
岡山市	3.0	4.9	5.0	3.0	2.7
岡山地域	13.3	15.3	10.7	10.5	12.1
玉野市	7.7	6.8	4.7	4.8	5.3
瀬戸内市	9.2	15.7	3.9	5.1	1.1
吉備中央町	68.0	81.8	83.3	103.3	83.3
東備地域	3.6	4.5	4.1	5.4	6.8
備前市	4.3	4.1	8.1	9.1	6.1
赤磐市	3.2	3.8	2.0	4.1	6.7
和気町	3.3	4.3	3.6	0.0	9.3
岡山県	3.3	3.9	4.2	3.2	2.8

（資料：岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」）

イ 1歳6か月児、3歳児健康診査受診率 (単位：%)

	令和1年度		令和2年度		令和3年度	
	1歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	3歳児
岡山市	94.3	93.8	96.9	95.5	96.7	96.1
岡山地域	94.6	94.1	93.9	94.4	93.9	95.2
玉野市	94.7	96.3	94.5	96.9	96.0	97.4
瀬戸内市	94.7	91.3	93.1	90.3	91.6	92.1
吉備中央町	93.2	92.9	92.5	98.4	93.2	95.5
東備地域	94.5	95.3	97.3	93.9	97.1	94.7
備前市	94.1	91.0	95.3	97.1	98.6	94.9
赤磐市	95.7	97.0	98.1	93.0	96.5	94.8
和気町	89.4	98.5	98.8	90.5	96.6	94.3
岡山県	95.4	94.6	96.4	95.8	96.7	95.7

(資料：岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

ウ 1歳6か月児、3歳児健康診査未受診児の把握率 (単位：%)

	令和1年度		令和2年度		令和3年度	
	1歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	3歳児
岡山市	89.9	91.1	97.3	95.0	97.3	97.3
岡山地域	100.0	95.1	100.0	100.0	100.0	100.0
玉野市	100.0	92.9	100.0	100.0	100.0	100.0
瀬戸内市	100.0	95.7	100.0	100.0	100.0	100.0
吉備中央町	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
東備地域	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
備前市	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
赤磐市	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
和気町	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
岡山県	94.3	95.3	98.3	96.4	97.1	98.7

(資料：岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

③ 高齢者支援

項目	施策の方向	進捗状況
地域包括ケアシステムの構築に向けた支援	<p>○地域包括ケアシステム構築の中核を担う地域包括支援センター職員の資質向上などの機能強化を通じて、市町が取り組む住民主体の介護予防事業の推進や生活支援サービスの提供体制の整備を支援します。</p> <p>○高齢者を支援する関係団体と連携して、「食」を通じた高齢者の健康づくりを支援します。</p>	<p>○市町・地域包括支援センター連絡会議を開催して情報・意見交換を行うとともに、市町村において住民等の多様な主体によるサービスが提供されるよう、介護予防を考えるワークショップの開催、通所付添サポート事業の構築や拡大への助言を行う等の支援をしています。</p>

④ 歯科保健

項目	施策の方向	進捗状況
歯科保健の推進	<p>○愛育委員会等と連携して、個別訪問や保育所、幼稚園等での、乳幼児のむし歯予防を啓発します。</p> <p>○「320 運動」の目標達成を目指して、乳幼児期からの効果的なブラッシング方法や仕上げ磨きの啓発、フッ化物塗布等の普及など予防に重点を置いた保健指導の充実を図ります。</p> <p>○県南東部地域医療連携推進事業等の推進や愛育委員会や栄養改善協議会の活動を通じて、口腔ケアの必要性を啓発します。</p> <p>○医科歯科連携を図り、寝たきり者や高齢者の口腔ケアを推進し、誤嚥性肺炎の予防や栄養状態の改善に取り組み、QOL の向上を図ります</p>	<p>○愛育委員会等と連携して、虫歯予防の啓発を、市町を中心に実施しています。</p> <p>○市町では、妊産婦の歯科健診・歯科保健指導や妊婦学級等での健康教育、乳幼児健診での栄養指導、歯磨き指導、フッ素歯面塗布などに取り組んでいます。</p> <p>○成人・高齢者歯科保健対策として、市町では歯周疾患検診・健康相談等を実施しています。</p> <p>○医科歯科連携に向けて、各市町においても歯科医師等と連携した在宅歯科の推進に努めています。</p>

【参考資料】

ア 3歳児の虫歯有病率

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
岡山市	17.6	15.9	13.9	12.9	13.5
岡山地域	14.8	18.2	10.4	12.2	12.2
玉野市	12.5	15.2	6.8	12.2	11.7
瀬戸内市	17.2	22.1	16.5	12.3	12.1
吉備中央町	19.4	19.8	6.0	11.7	16.7
東備地域	16.0	15.8	14.7	14.3	11.5
備前市	22.6	14.6	16.0	12.7	11.4
赤磐市	12.1	16.0	13.8	13.2	10.5
和気町	18.6	17.5	15.6	25.0	16.7
岡山県	16.1	15.1	13.0	12.4	11.9

(資料：岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

イ フッ素塗布経験児率（3歳児）*

（単位：％）

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
岡山市	62.8	67.0	65.5	67.4	67.7
岡山地域	70.6	72.6	72.0	83.3	80.8
玉野市	51.4	56.6	55.6	76.7	73.0
瀬戸内市	95.0	92.2	94.6	92.7	97.3
吉備中央町	98.4	86.4	82.0	83.3	54.8
東備地域	82.7	80.8	79.7	79.9	77.8
備前市	74.7	90.0	74.7	71.6	77.2
赤磐市	91.2	62.5	86.2	88.3	81.5
和気町	60.0	58.4	59.4	56.6	60.6
岡山県	69.7	72.1	72.4	71.4	70.1

（資料：岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」）

⑤ 結核・感染症対策

項目	施策の方向	進捗状況
結核対策の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ○適切かつ確実な治療が行われるよう、医療機関をはじめ関係機関と連携しながら服薬支援（DOTS）を推進します。 ○医師会と連携して医師に対する研修等を実施し、結核患者の早期発見と早期治療によるまん延防止に取り組みます。また、結核患者が一般病院、診療所で治療を受ける場合も、結核専門医療機関、結核専門医との連携による適切な医療を推進します。 ○有症状者が早期に医療機関を受診するよう、また高齢者や医療従事者、教育従事者等の健康診断（胸部X線検査等）受診率の向上を目指して、普及啓発を進めます。 ○愛育委員会と連携した啓発活動等により、市町のBCG接種率の向上を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登録患者に対するDOTSにより服薬支援を行っています。 ○医療機関と連携し、研修等を実施し、結核患者の早期発見と早期治療によるまん延防止に取り組んでいます。 ○結核予防週間や市町の検診受診勧奨等を通じて普及啓発を図るとともに、高齢者施設等で結核についての健康教育を実施しています。 ○愛育委員会の複十字シール募金運動や検診受診勧奨の活動を通じて普及啓発を図っていきます。 ○新型コロナウイルス感染症の流行の影響等により、BCG接種率が一時的に低下した年度もありました。引き続き向上に向けた取組を行います。
感染症対策の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ○市町等と連携しながら、感染症に関する正しい知識の普及により発生予防を図るほか、発生時には情報を迅速・的確に把握し、早期の予防対策の推進とまん延防止に取り組めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町や地区医師会等と連携しながら感染症の予防に関するパンフレットの配付やホームページの活用等により、迅速かつ適切に情報提供し、発生予防及びまん延防止に努めています。

	<p>○予防接種法に基づき市町が実施する定期予防接種について、市町や教育委員会等と連携し、接種率向上に向けた取組を支援するとともに、特に麻しんについては岡山県麻しん対策指針に従い、麻しん排除の状態を維持する取組を支援します。</p> <p>○医療関係者や関係機関等の研修、情報提供等により、新興感染症をはじめとする様々な感染症に対する健康危機管理体制の整備を推進し、発生時にはまん延防止に向けて、迅速かつ的確な対応を行います。また、新型インフルエンザに対しては、医療機関や消防機関、市町等と連携し「感染症患者等移送ネットワーク強化事業」の推進により発生時の対応訓練を行う等体制整備や普及啓発を行います。</p> <p>○学校と連携し、エイズ出前講座等により、若年層に対するエイズ・性感染症の正しい知識の普及啓発に努めるとともに、イベント等を通じてハイリスク層への啓発に取り組みます。</p>	<p>○市町を通して予防接種に関する普及啓発を進めています。</p> <p>○社会福祉施設等の職員を対象とした研修会を開催し、平常時及び発生時の対応について啓発し、発生予防及びまん延防止に努めています。また、発生時には関係機関と連携の上、迅速かつ適切に対応しています。</p> <p>○県南東部圏域における新型インフルエンザ発生時には、県の行動計画等に従ってすみやかに対応できるよう関係機関と連携を図っています。</p> <p>○感染症患者等移送ネットワーク構築に係る消防機関感染症対策研修会を開催し、連携を図っています。</p> <p>○高等学校と連携してエイズ出前講座を実施し、エイズ・性感染症等の正しい知識の普及に努めています。</p>
--	---	---

【参考資料】

ア 結核定期健康診断受診率（学校・医療機関・高齢者施設等）（単位：％）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	97.1	96.8	96.3	96.8	96.0
備前HC地域	97.5	97.2	96.7	95.6	94.4
東備地域	97.7	98.4	97.4	92.6	96.3
岡山県	97.2	97.1	96.4	96.1	-

（資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」）

イ 乳幼児に対する BCG 接種率（単位：％）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	97.2	93.7	96.6	93.2	84.4
岡山地域	78.1	77.7	85.0	79.5	78.0
東備地域	79.6	78.8	69.5	74.8	76.0
岡山県	89.7	86.4	89.4	88.2	-

（資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」）

ウ 新登録結核患者数

(単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
岡山市	72	72	59	81	45
岡山地域	8	15	10	11	10
東備地域	24	16	20	10	21
岡山県	187	186	153	183	148

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」) ※岡山県 令和4年は暫定値

エ エイズ抗体検査

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	501	348	114	110	215
岡山地域	154	178	113	87	61
東備地域	16	21	8	7	9
岡山県	1,126	935	411	319	474

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

オ 新規エイズ患者数及び新規 HIV 感染者の報告数 (単位：人)

		令和3年	令和4年
岡山県	エイズ患者	6	3
	HIV感染者	7	3

(資料：健康推進課資料)

⑥ 難病対策

項目	施策の方向	進捗状況
難病対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○岡山県難病相談・支援センター等関係機関と連携し、難病医療福祉相談や患者・家族の集いの開催、主治医等と連携した療養相談、家庭訪問を行います。また、市町の実施する居宅生活支援事業の活用を進めます。 ○在宅療養支援計画策定評価事業を通じて、医療機関、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション等と連携しながら、在宅療養生活を支援します。 ○災害時に難病患者や家族が安全に避難できるよう、個別支援計画の策定など、市町や関係機関と連携し支援体制を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○難病医療福祉相談や患者・家族の集いを開催するとともに、特定医療費受給者申請時の面接や訪問を実施し、市町の障害福祉サービス、介護保険の活用を行いました。 ○在宅療養支援計画策定評価事業を通じて、関係機関と連携しながら在宅療養生活の支援を進めました。 ○難病患者の状況に応じて、個別支援シートを作成し、市町の災害担当部署と情報を共有し、連携を図りました。

【参考資料】

ア 医療受給者証の交付件数 (単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	5989	6191	6821	6638	6801
玉野市	567	581	635	618	614
瀬戸内市	322	339	360	341	358
吉備中央町	104	102	107	196	100
備前市	342	343	353	353	348
赤磐市	351	373	395	379	400
和気町	162	148	160	152	148

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

※平成27年1月から指定難病が56疾病から110疾病に、7月から306疾病、平成30年4月から331疾病、令和元年7月から333疾病、令和3年11月から338疾病となる。

(特定疾患治療研究事業対象疾病は4疾病)

イ 在宅療養支援計画策定評価事業 (単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	27	21	22	17	22
岡山地域	21	42	31	40	25
東備地域	14	24	4	1	42

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

ウ 医療福祉相談実施回数 (単位：回)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岡山市	3	3	2	2	2
岡山地域	3	3	0	0	0
東備地域	1	2	0	0	1

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

エ 出張相談窓口の開設と利用状況 (単位：回数、人)
(新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度以降は実施なし)

		平成30年度	令和元年度
岡山市	実施回数	9	6
	利用者数	168	87
岡山地域	実施回数	9	9
	利用者数	485	490
東備地域	実施回数	0	0
	利用者数	0	0

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

⑦ 健康危機管理

項目	施策の方向	進捗状況
健康危機管理の取組	○医療機関や社会福祉施設関係者等を対象とした新型インフルエンザやノロウイルス感染	○新型コロナウイルス感染症対応において、医療機関や社会福祉施設等への感染予防研修

	<p>等の感染予防研修会を開催し、健康危機事案の発生予防や発生時に適切な対応ができるよう取り組みます。</p> <p>○健康危機事案発生時に適切な医療が提供できるよう、地区医師会、感染症指定医療機関に必要な健康危機情報を提供するとともに、医療体制について検討します。</p> <p>○健康危機管理マニュアルに基づき、保健所の健康危機管理体制を強化するとともに、医療機関、消防、警察等の関係機関と地域連絡会議や合同訓練の開催等を通じて連携を図ります。</p> <p>○健康危機事案発生時には、適切に情報を収集・提供し、迅速に初動体制を確保することとし、感染や被害の拡大防止に関係機関と協働で取り組みます。また、感染者や被害者、家族等の心のケアに取り組みます。</p>	<p>会を随時開催し、各施設で基本的感染対策が適切に実施されるよう取り組んでいます。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応において、地域対策本部会議を開催したり、郡市等医師会や入院受入医療機関等と連携したりして、地域にかける医療提供体制を徐々に構築しました。</p> <p>○健康危機管理マニュアルに基づき、今後の新興感染症の発生も視野に入れ、保健所の健康危機管理体制を強化するよう検討しています。</p> <p>○健康危機事案の発生に備え、新型コロナウイルス感染症対応に引き続き、平時からの関係機関との連携を図り、すみやかに有事対応ができる体制について検討しています。</p>
--	--	---

⑧ 医薬品等安全対策

項目	施策の方向	進捗状況
監視指導の実施	○薬局、医薬品販売業者等に対して、医薬品医療機器等法への適切な対応及び医薬品の適正使用に必要な情報提供の徹底を重点とした監視指導を効果的かつ効率的に実施します。	○薬局、医薬品販売業者等へ計画的に監視指導を実施し、医薬品の適正な取扱い等について、必要な指導を行っています。
医薬品の適正使用の推進	○市町、薬剤師会と連携し、「薬と健康の週間」事業等の機会を通じ、医薬品の適正使用のための知識の普及に積極的に取り組みます。	○市町、薬剤師会と連携し、県民に対し、「薬と健康の週間」事業等の機会を通じ、医薬品の適正使用のための正しい知識の普及に取り組んでいます。

⑨ 血液確保対策

項目	施策の方向	進捗状況
献血者の確保対策	<p>○若年層の献血協力者を増やすため、市町や愛育委員会等の地区組織と連携し、高等学校や大学等においてキャンペーン等を実施し、若者の血液事業に関するより一層の理解の促進に努めます。</p> <p>○市町や愛育委員会等の地区組織、さらには企業等との連携を密にし、「地域ぐるみ」、「職域ぐるみ」の献血の推進に努めます。</p>	<p>○市町や愛育委員会等の地区組織と連携し、高等学校文化祭等において献血パネルを展示し、血液に対する正しい理解の普及に努めています。</p> <p>○市町や愛育委員会等の地区組織、献血協力団体と連携し、献血協力者の確保に努めています。</p>

⑩ 薬物乱用防止対策

項目	施策の方向	進捗状況
薬物乱用防止の普及啓発	<p>○覚醒剤等薬物乱用防止指導員地区協議会活動を通じて、薬物に対する正しい知識や薬物乱用の恐ろしさについて広く普及啓発を推進します。</p> <p>○薬物乱用防止教室に講師を派遣するなど、中高校生等若年層への普及啓発に努めます。</p> <p>○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動等各種の普及啓発活動の充実を図ります。</p>	<p>○覚醒剤等薬物乱用防止指導員地区協議会を中心に、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動や麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動等、地域に根ざした普及啓発運動を実施しています。</p> <p>○薬物乱用防止教室への講師派遣や啓発資材の貸出しを行うことにより、中高校生等若年層へ薬物に対する正しい知識の普及啓発に努めています。</p>

⑪ 生活衛生対策

項目	施策の方向	進捗状況
生活衛生関係営業施設等の衛生水準の向上	<p>○生活衛生関係営業施設や特定建築物の衛生的環境を確保するため、効率的な監視指導を行うとともに、自主的な衛生管理を促進することにより衛生水準の維持向上を図ります。</p>	<p>○生活衛生関係営業施設や特定建築物に対して監視指導を行うとともに、理容師、美容師に対して衛生講習を行い、衛生知識の普及啓発に努めています。</p>
入浴施設におけるレジオネラ属菌による健康	<p>○入浴施設を原因とするレジオネラ感染症の発生防止を図るため、循環式浴槽の公衆浴場や旅館に対して水質検査を実施するとともに、正しい知識の普及啓発等に</p>	<p>○循環式浴槽の公衆浴場や旅館に対して浴槽水等の行政検査を実施し、検査結果に基づき指導を行っています。</p>

被害防止 対策	より衛生管理の徹底を指導しま す。	
------------	----------------------	--

【参考資料】

ア 生活衛生関係営業所等施設数（令和4年3月末現在）

区 分	岡山市	岡山地域	東備地域	圏域
興行場	33	4	3	40
旅館業	221	104	68	393
公衆浴場	92	16	11	119
理容所	630	127	105	862
美容所	1,845	217	169	2,231
クリーニング所	479	56	71	606
特定建築物	297	26	19	342

（資料：衛生行政報告例、備前保健所）

⑫ 食品安全対策

項目	施策の方向	進捗状況
生産から消費までの食の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ノロウイルスやカンピロバクター等による食中毒の発生防止に重点を置いて、飲食店、旅館、弁当・仕出し屋、給食施設の監視指導を行います。 ○広域流通食品等事業者に対して、適正な衛生管理、記録の作成・保存、適正な表示の実施等を徹底するよう監視指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○飲食店、旅館、弁当・仕出し屋、給食施設等の監視指導を行い、特に、全国的に発生件数の多いノロウイルス、カンピロバクターによる食中毒の発生防止に努めています。 ○広域流通食品等事業者に対して、衛生管理、記録、表示を適切に実施するよう指導しています。
リスクコミュニケーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者に生産現場の視察や体験、生産者との意見交換を実施することを通じて、相互に理解を深めるリスクコミュニケーションの場を設けます。 ○「食の安全相談窓口」を引き続き設置します。 ○食品営業施設、一般消費者等を対象に、食中毒防止等の食品衛生知識や食の安全・安心に関する講習会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者等を集め、生産現場や製造施設を視察し、事業者との意見交換を実施し、相互理解を深めるための取り組みを行っています。 ○「食の安全相談窓口」を引き続き設置し、消費者等からの相談に対し適切な対応を行っています。 ○食品営業施設、一般消費者等を対象に、過去の食中毒事案等を参考とした衛生管理方法の講習や、参加体験型講習等わかりやすい講習会を開催しています。
かきの衛生確保	<ul style="list-style-type: none"> ○生食用かきの衛生確保を図るため、かきだけでなく海域海水の検 	<ul style="list-style-type: none"> ○生食用かき及び海域海水の検査を行うとともに、関係者を対象

	<p>査を行うとともに、関係者を対象とした衛生講習会を開催し、安全・安心なかきの生産を支援します。</p> <p>○業界の自主管理体制を確立するため、自主検査の強化、ロット管理を含むトレーサビリティ・システムの充実、違反等発生時の的確な対応について関係機関等との連携を図りながら支援・指導を行います。</p>	<p>とした衛生講習会を開催して、安全・安心なかきの生産を支援しています。</p> <p>○自主検査の強化、ロット管理を含むトレーサビリティ・システムの充実、違反等発生時の的確な対応について関係機関等との連携を図りながら支援・指導を行っています。</p>
--	--	---

【参考資料】

ア 年別病因物質別食中毒発生件数 (単位:件)

	岡山市					岡山地域				
	平成30年(2018)	令和1年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)	令和4年(2022)	平成30年(2018)	令和1年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)	令和4年(2022)
カンピロバクター										
サルモネラ属菌		2								
腸炎ビブリオ										
病原大腸菌										
ノロウイルス		1	1	2	1					1
自然毒	1			1				1		
その他、不明	1								1	
総数	2	3	1	3	1			1	1	1

	東備地域					圏域				
	平成30年(2018)	令和1年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)	令和4年(2022)	平成30年(2018)	令和1年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)	令和4年(2022)
カンピロバクター										
サルモネラ属菌							2			
腸炎ビブリオ										
病原大腸菌										
ノロウイルス							1	1	2	2
自然毒						1		1	1	
その他、不明	1					2			1	
総数	1					3	3	2	4	2

(資料：岡山県生活衛生課、備前保健所)

イ かきに係る行政検査実施状況 (単位:件)

区分	検体数
生食用かき	37
加工・洗浄用の使用水	38
養殖海域の海水	112

(資料：備前保健所)

ウ かき生産量 (単位:t)

区分	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)
圏域	3,347	2,453	3,181	2,890	3,382
岡山県	3,517	2,577	3,379	3,052	3,605

(資料：岡山県水産課)

5 保健医療従事者の確保と資質の向上

(1) 医師

項目	施策の方向	進捗状況
医師の確保	○地域医療人育成センターおかやま等が行う医師確保対策に協力するとともに、これらの施策に関する関係機関への情報提供を行います。	○令和5年度は当圏域内の4病院へ地域卒卒業医師がそれぞれ1名ずつ派遣されています。

(2) 歯科医師

項目	施策の方向	進捗状況
歯科医師の確保	○歯科医師会等関係機関の協力を得て、高齢者のかかりつけ歯科医師の確保に努めるとともに、在宅歯科治療に従事する歯科医師の増加に努めます。	○岡山県歯科医師会に設置された「歯科往診サポートセンター」の利用について普及啓発を行いました。

(3) 薬剤師

項目	施策の方向	進捗状況
薬剤師の確保	○岡山県薬剤師会等関係団体が、薬剤師の資質の向上を目的として開催する各種研修事業等へ積極的に協力するとともに、関係機関と連携して薬剤師の安定的な確保に努めます。	○岡山県薬剤師会等関係団体が、薬剤師の資質の向上を目的として開催する各種研修事業等へ協力しました。

(4) 看護職員

項目	施策の方向	進捗状況
看護職員の確保と資質の向上	○医療機関や岡山県看護協会岡山支部、東備支部と連携し、岡山県看護協会等の実施する研修へ参加しやすい環境をつくり、看護職員の資質向上を図るとともに、離職防止や再就業の促進にも取り組みます。	○岡山県看護協会が行う研修会において、就職説明会等の周知を図りました。

(5) その他の保健医療従事者

項目	施策の方向	進捗状況
その他の保健医療従事者の確保と資質の向上	○各職能団体等と連携し、技術向上のための研修の支援等を進めるとともに、医療機関等と連携し研修に参加しやすい職場づくりを支援することにより、保健医療従事者の確保対策を推進します。	○保健、医療、介護分野に従事する保健医療従事者について、各分野での研修会を開催し、資質の向上に努めました。

